

NACCS業務講習会資料 【保税FAQ】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

平成28年10月

輸出貨物業務(FAQ)

バンニング情報の訂正・追加・取消し

<質問> バンニング情報登録により行った個数等の訂正方法は。

<回答> バンニング情報登録後の訂正・追加・取消しに係る業務処理は次のとおりです。

- ① 訂正 VAD11(バンニング情報訂正呼出し) ⇒ VAD(バンニング情報訂正)
- ② 追加 VAA11(バンニング情報追加呼出し) ⇒ VAA(バンニング情報追加)
- ③ 取消し VAC(バンニング情報取消し)

なお、訂正(処理区分3のみ)・追加・削除については、CYA(CY搬入確認登録)済みの場合においても行うことができます。

バンニング情報訂正
呼出し : VAD11 ⇒ VAD

処理区分* (5 : コンテナ情報の訂正
4 : 貨物情報の訂正
3 : バンニング個数、重量、容積の訂正)

輸出管理番号等

コンテナ番号

バンニング場所

バンニング個数 - 重量 -

残個数 重量

他にバンニングをする貨物が無いときは、必ず「残個数」は0(ゼロ)を入力し、同じ行にある(残)重量と(残)容積の欄は空欄にします。
誤って残個数を入れてしまうと、貨物情報の総個数が増えてしまうので要注意です。
処理区分が「3」及び「4」を選択した場合は、貨物情報自体の内容の変更を行います。

バンニング情報追加
呼出し : VAA11 ⇒ VAA

コンテナ番号*

バンニング場所

輸出管理番号等*

輸出管理番号等自体をコンテナ情報に追加したいときに、このVAA業務で行います。
追加する貨物が、バンニング保税蔵置場に蔵置されていることが条件です。

バンニング情報取消し
VAC

コンテナ番号

輸出管理番号等

バンニング場所 -

コンテナ番号を誤ってバンニング情報登録した場合は、このVAC業務で誤ったコンテナ番号を取消した後、再度正しいコンテナ番号でバンニング情報登録をします。

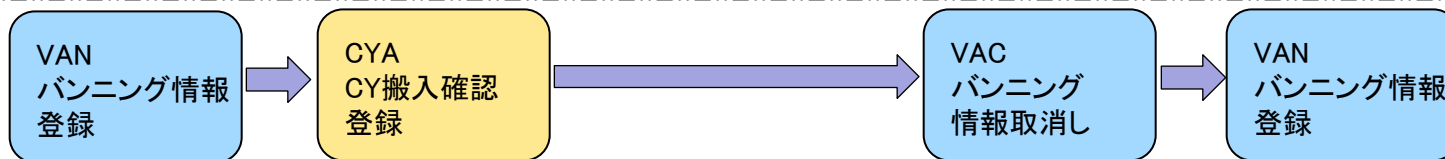
コンテナ番号の訂正

<質問>

VAN(バンニング情報登録)でコンテナ番号を入力ミスした場合、CYでの訂正・削除方法は。

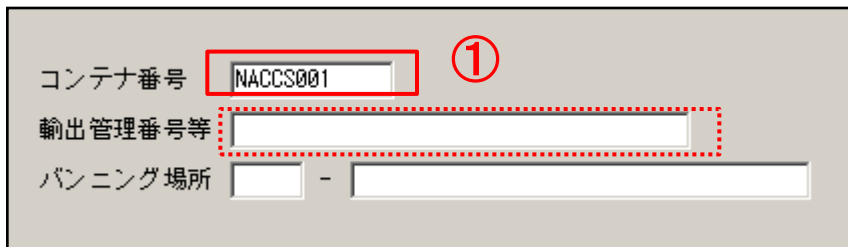
<回答>

CYで訂正することは出来ません。ただし、CY搬入後でもCYC(CY搬入情報訂正)を行うことなく、VAC(バンニング情報取消し)で取消しが可能ですので取消し後、再度VAN業務で登録しなおしてください。



※コンテナ番号の訂正方法(保税又は通関)

- ① VACでコンテナ番号を入力して送信
- ② 送信済みから訂正前の登録済みVANを展開
- ③ コンテナ番号を訂正して送信

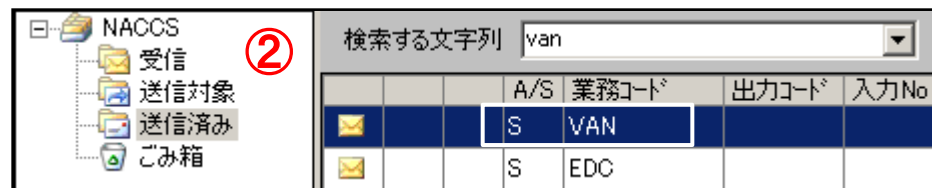


コンテナ番号 ①

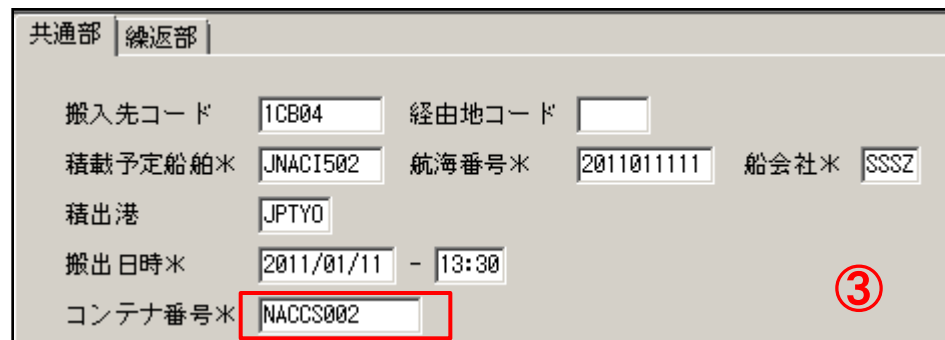
輸出管理番号等

バンニング場所 -

CY搬入後は一括の取り消しが出来ないため「コンテナ番号」及び「輸出管理番号」の両方を入力していただく必要があります。



	A/S	業務コード*	出力コード*	入力No
<input checked="" type="checkbox"/>	S	VAN		
<input type="checkbox"/>	S	EDC		



共通部 | 繰返部

搬入先コード 経由地コード

積載予定船舶* 航海番号* 船会社*

積出港

搬出日時* -

コンテナ番号* ③

CY通関済貨物の場合、VAC・CYCも行えないため税関相談になります。



バンニング情報登録とCY搬入確認登録との優先度

<質問>

既にCYA(CY搬入確認登録)されているコンテナに対してVAN (バンニング情報登録)をするが注意点は。

<回答>

「積載予定船舶コード」、「航海番号」、「コンテナサイズ」、「コンテナタイプ」の登録内容は、コンテナヤードでのCYAの入力内容が優先(上書)されます。

よってバンニング情報登録より先にCYAがされていた場合、下記のような注意喚起が出力されますが、対処は不要です。
 ※CYAの入力内容に間違いがあった場合は、コンテナヤードで訂正をする。



保税蔵置場

バンニング情報登録

VAE11 → VAE
VAN11 → VAN

共通部	繰返部				
搬入先コード	1CB04	経由地コード		船会社*	SSSZ
積載予定船舶*	9999	航海番号*	001		
積出港	SP170				
搬出日時*	2011/01/13				
コンテナ番号*	OLCUT07602				
コンテナ自重					
シール番号	1 1 2 3 4 5 6				
コンテナサイズ	45	コンテナタイプ	PF		
バンニング場所	4				
包括コンテナ扱い申出番号					
ブッキング番号 (コンテナ)	1				
COMPLETION					
W0004		当該コンテナについてCYAでのCY搬入確認登録業務が先行しているが、CY搬入確認登録で登録されたコンテナサイズコード、コンテナタイプコードと入力されたコンテナサイズコード、コンテナタイプコードが異なっている。よって、入力されたコンテナサイズコード、コンテナタイプコードでは更新は行わない。			

コンテナヤード

CYAの登録内容が優先!



CY搬入確認登録
CYA

コンテナ番号*	OLCUT07602		
搬入日時*	2011/01/13		
ポートノート			
積載予定船舶	9999	航海番号	001
空/実入表示	5	コンテナ識別*	22
コンテナサイズ	42	コンテナタイプ	GP
事故税関通知			
事故コード	1	2	3
	4	5	

搬入先差異情報

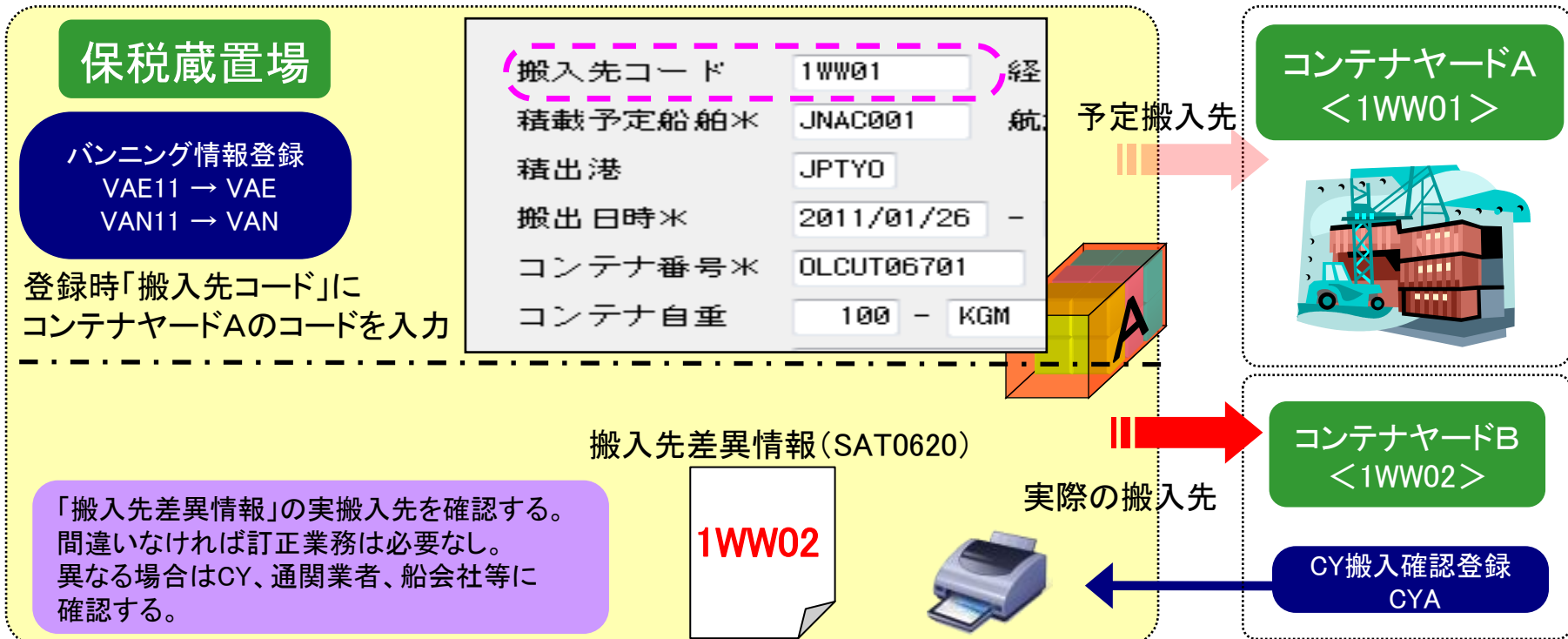
<質問>

搬入先差異情報が出力されたが、対処方法は。

<回答>

VAN・VAE(バンニング情報登録)にて登録した搬入先保税地域と、CYA(CY搬入確認登録)を行った保税地域が異なる場合に出力されます。内容を確認し、正しい保税地域コードに搬入されていればシステム上処理不要です。

※誤った搬入先でCYAされている場合、CYC(CY搬入情報訂正)「1」で搬入を取消後、正しい搬入先にて改めてCYAをしていただく必要があります。

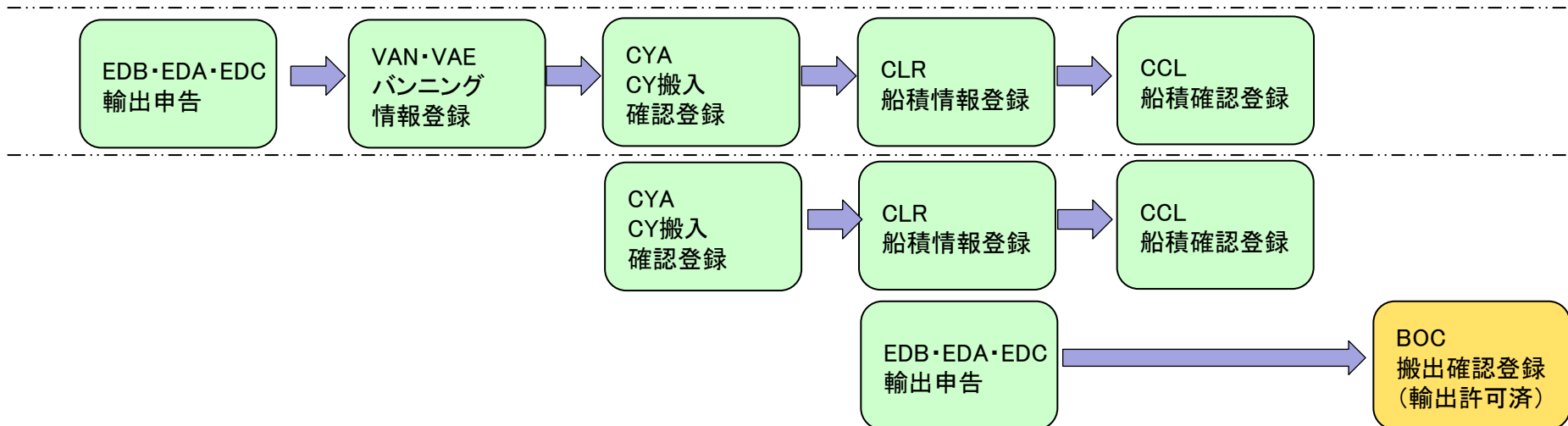


<質問>

船積確認後に海貨業者や倉庫業者がバンニング情報登録業務を入力した場合、ゴミデータとなり滞留するケースがある。
対処方法は。

<回答>

CYから海貨業者・倉庫業者に対して、バンニング情報登録はCYカット日までにタイムリーに行うことを依頼することが必要と思われます。NACCSセンターとしても、海貨業者・倉庫業者様から、カット日が迫ったり過ぎている時点でのバンニング情報登録の照会があった際には当該仕様を説明した上でバンニング情報登録ではなく、税関に相談の上で便宜BOC業務でシステム外への搬出をするように伝えています。



輸出許可後の不積み貨物の対応方法①

<質問>

輸出許可となった貨物があるが、一部に破損が見られる為一部不積み処理したい。

<回答>

輸出許可後に破損等で不積み貨物が出た時は、輸出するものと残すものにと仕分け(SHS)をする。

※BIF業務で個数を強制的に減らす対応をするのは、保税管理上おかしくなるので行わない。

また仕分け後、貨物管理番号に枝番が付与され、不積み貨物は、保税蔵置場でBOB(貨物引取り)搬出する。



同一保税地域内に全量搬入されている事が条件となります。

通関業者



100 PK

輸出許可

貨物管理番号:0000298841

【事例】

5PKが破損



95PKを輸出
5PKを残す場合

通関業者・海貨業者・保税蔵置場



貨物取扱登録(改装・仕分け)
SHS



95 PK

仕分後貨物管理番号:0000298841A



5 PK

仕分後貨物管理番号:0000298841B

通関業者



貨物取扱
(改装・仕分け)
情報
(SAL0040)



95 PK

許可後訂正

仕分後貨物管理番号:0000298841A

保税蔵置場

5 PK



搬出確認登録(貨物引取り)
BOB

情報削除

仕分後貨物管理番号:0000298841B

輸出許可後の不積み貨物の対応方法②

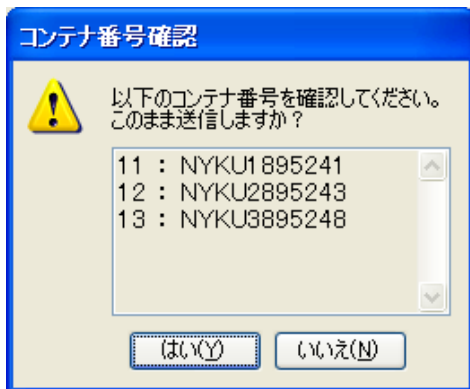
貨物取扱登録(改装・仕分け) SHS

共通部	繰返部
許可申請番号	<input type="text"/>
仕分数*	2 (改装: 1 仕分け: 2~20)
取扱場所	2WWW1
取扱開始日時*	2011/01/10 - 10:00
取扱終了日時*	2011/01/10 - 12:00
仕分前貨物管理番号*	0000298841
記事	<input type="text"/>

共通部	繰返部
「01」が輸出申告情報を引き継ぐ。	
01 仕分後個数	95 - PK 重量 950.000 - KGM 容積 950.000 - MTQ
仕分後品名	WOMAN DRESS
仕分後記号番号	N/M
仕分後危険貨物等	<input type="checkbox"/>
輸出	
95 PK	

共通部	繰返部
02 仕分後個数	
5 - PK 重量 50.000 - KGM 容積 50.000 - MTQ	
仕分後品名	WOMAN DRESS (DIRTY)
仕分後記号番号	N/M
仕分後危険貨物等	<input type="checkbox"/>
不積み	
5 PK	

- コンテナ番号のチェックデジット確認機能 (H24.7.26 機能改善)
 - バンニング情報登録業務 (VAN/VAE) におけるコンテナ番号誤入力防止のため、NACCSパッケージソフトにはコンテナ番号のチェックデジットによる確認機能が備わっています。^{*1 *2}
 - バンニング情報登録業務の実施時にはこのチェックデジットによる確認が行われ、誤入力の可能性がある場合には [コンテナ番号確認] ダイアログが表示されますので、番号を訂正する場合には [いいえ(N)] をクリックし入力訂正を行って下さい。



*1 ISOコンテナ番号(先頭4桁が英字)が対象。

*2 ISO6346に規定されたチェックデジット

コンテナ番号が複数ある場合には、欄番号と一緒にエラーのコンテナ番号全てをリストで表示します。

ISOコンテナの番号におけるチェックデジット：

ISOコンテナの番号は、英字4字+シリアルナンバー6桁+**チェックデジット**※1桁で構成されています。この番号体系により、コンテナ番号の正確性を確認できるようになっています。

(※**チェックデジット**：符号の入力誤りなどを検出するために元の符号に付加される数字のこと。)

■ ISOコンテナの番号体系



コンテナサイズコード(例)

長さ x 高さ(ft)	コード
20'x 8'0"	20
20'x 8'6"	22
20'x 9'0"	24
20'x 9'6"	25
40'x 8'0"	40
40'x 8'6"	42
40'x 9'0"	44
40'x 9'6"	45

コンテナタイプ(例)

種類	コード
ドライ	GP
冷凍(※)	RT
オープントップ	UT
フラットラック	PF
タンクコンテナ	TN
その他	SN

※温度設定可能なコンテナ

ISOコンテナの番号：

海上輸送で流通している貨物コンテナには固有の記号が与えられており、コンテナの表面に記載されています。ISOコンテナの番号は、英字4字の所有者コード(3桁)・装置区分識別子(1桁)、数字6桁のシリアルナンバー、更に数字1桁のチェックデジット*で構成されています。(* ISO6346に規定)

また、コンテナのサイズやタイプを表すコード、自重や積載可能重量などの情報も記載されています。

CY搬入後のシール番号の訂正

<質問>

CY通関で開被検査になった場合のリシールの方法は。

<回答>

CYでの輸出申告で、開被検査になった場合のリシール登録はCCX(貨物状況登録)で行います。

またCYA(搬入確認登録)済みの場合は、通関業者やバンニング保税蔵置場でのシール番号訂正は出来ませんので、CYがCCXで訂正します。※シール番号の訂正はCYC11→CYC(CY搬入情報訂正)でも可能です。

コンテナヤード



搬入

CY搬入確認登録
CYA

貨物状況登録 CCX

貨物管理番号	<input type="text"/>					
コンテナ番号	<input type="text" value="OLCUT06702"/>					
危険貨物	<input type="checkbox"/>					
事故税関通知	<input type="checkbox"/>					
事故	1	2	3	4	5	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
シール番号	1	2	3	4	5	6
	<input type="text" value="100"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

貨物検査後のリシールの登録、シール番号の訂正、
コンテナの破損等による事故通知が可能です。

輸入貨物業務(FAQ)

搬入時の重量・容積の訂正

<質問>

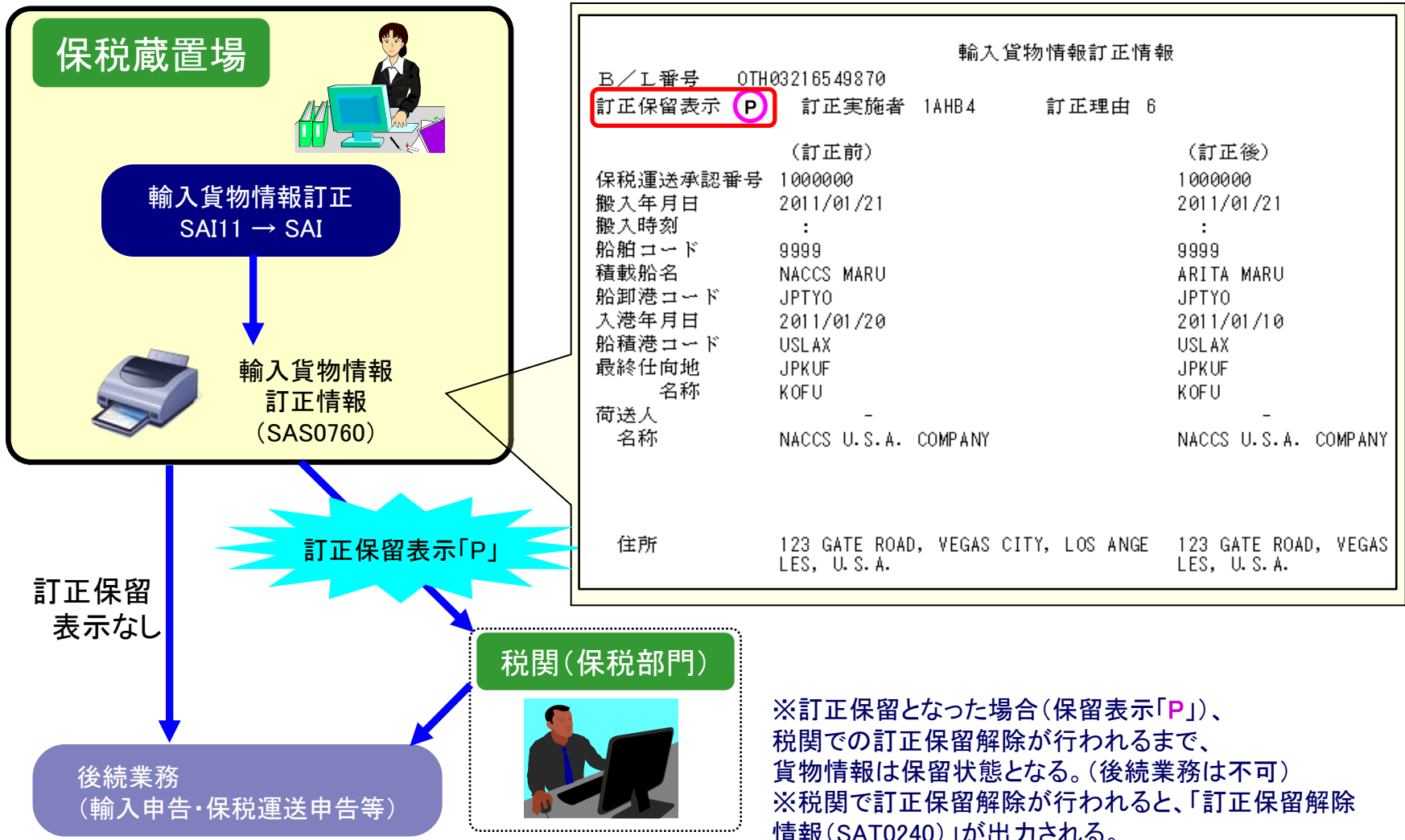
BIA(搬入確認登録)業務にて搬入時に個数に差異があった為、搬入識別「C」(混載親B/L番号単位一括搬入確認または個別搬入確認)にて事故通知を行いたい重量と容積を入力するとエラーが出て搬入が出来ない。

<回答>

BIA(搬入確認登録)業務の搬入識別「C」では、個数を入力し事故通知をすることは可能ですが、**重量と容積は訂正出来ません**。従って重量と容積を訂正する場合は、**税関の事故確認後に**、別途SAI11→SAI(輸入貨物情報訂正)業務を行います。

The screenshot shows the NACCS system interface. At the top, a box displays the B/L number: B/L番号* OTH03216549870. A blue callout bubble next to it says "輸入貨物情報訂正 呼出し : SAI11". Below this, the main interface has tabs for "共通部" (highlighted in red) and "繰返部". A green callout bubble indicates "重量・容積の入力箇所は「共通部」". The "共通部" tab shows the B/L number, a correction reason dropdown menu with "3" selected (highlighted in red), and a callout bubble explaining: "訂正理由は「3」を入力。(税関に事故を通知した(Zを入力した)貨物に関する訂正のため)". Below this, the "搬入日時" is shown as 2011/01/21. At the bottom, a table shows "個数* 100 - CT", "重量* 1000.000 - KGM" (highlighted in red), and "容積 1000.000 - MTQ" (highlighted in red). A green callout bubble points to these fields: "事故通知後の重量及び容積が訂正できます.". To the right, a blue callout bubble says "輸入貨物情報訂正 登録 : SAI". At the bottom right, a pink starburst callout says "SAI業務後の税関による 訂正保留については、14ページを参照".

輸入貨物情報訂正での留意点



システム外搬入の訂正・取消

<質問>

BIB(システム外搬入)にて登録したがB/L番号を間違ってしまった。訂正は可能か。

<回答>

BIX(システム外搬入確認取消)にて訂正・取消が可能です。

BIB(システム外搬入)を行った日から、3日経過した場合は本業務は行えないので注意すること。(日曜・祝日は除く。)
ただし、後続のNACCS業務が行われた後は、当業務はできません。

**システム外搬入確認取消
呼出し : BIX11**

削除貨物管理番号*


削除貨物管理番号*

削除理由コード* (DBL : 貨物の二重登録
MIS : B/Lの入力ミス
OTH : その他の理由)

削除理由

新貨物管理番号 20桁まで

**システム外搬入確認取消
登録 : BIX**



【入力する箇所】

①DBL(貨物の二重登録)の場合

- ・削除貨物管理番号
- ・削除理由コード(DBL)
- ・削除理由・・・削除しない貨物管理番号を入力

②MIS(B/Lの入力ミス)の場合

- ・削除貨物管理番号・・・**間違えた**B/L番号を入力
- ・削除理由コード(MIS)
- ・新貨物管理番号・・・**正しい**B/L番号を入力

③OTH(その他の理由)の場合

- ※**搬入自体の取消し**
- ・削除貨物管理番号
- ・削除理由コード(OTH)
- ・削除理由・・・具体的な理由を入力

税関(保税部門)



保留解除

※税関での訂正保留解除が行われるまで、
貨物情報は保留状態となる。(後続業務は不可)
※税関で訂正保留解除が行われると、「訂正保留解除情報(SAT0240)」が出力される。

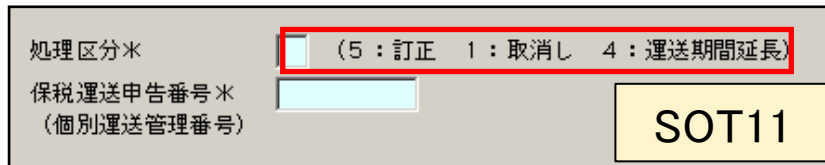
保税運送期間の変更

<質問> OLC(保税運送申告)による保税運送期間の変更方法は。

<回答>

保税運送承認後に運送期間延長承認申請をする場合は、あらかじめ税関に申し出た後、SOT11(保税運送申告(承認)変更(呼出し))→SOT(保税運送申告(承認)変更)を利用して行います。なお、下記に該当する場合、訂正不可となりますので、その場合にはSOT11の「1:取消し」を行った後に再度、登録することになります。

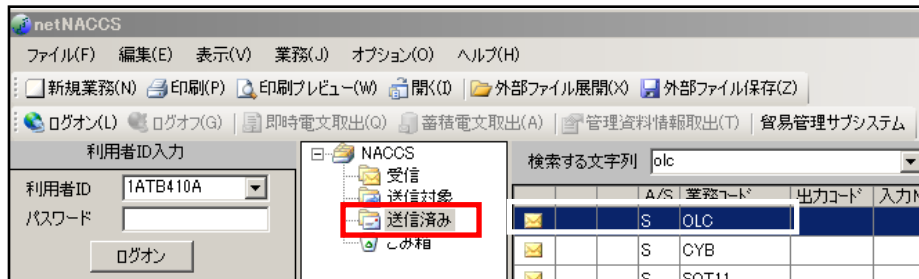
- ①承認後の運送期間開始年月日の変更
- ②保税運送承認期間を経過している場合



処理区分* (5:訂正 1:取消し 4:運送期間延長)
保税運送申告番号*
(個別運送管理番号)

SOT11

運送期間延長の場合 ⇒ 4:運送期間延長
開始時期訂正の場合 ⇒ 1:取消し



netNACCS
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(J) オプション(O) ヘルプ(H)
新規業務(N) 印刷(P) 印刷プレビュー(W) 開く(O) 外部ファイル展開(X) 外部ファイル保存(Z)
ログオン(L) ログオフ(G) 即時電文取出(Q) 蓄積電文取出(A) 管理資料情報取出(T) 貿易管理サブシステム

利用者ID入力
利用者ID 1ATB410A
パスワード
ログオン

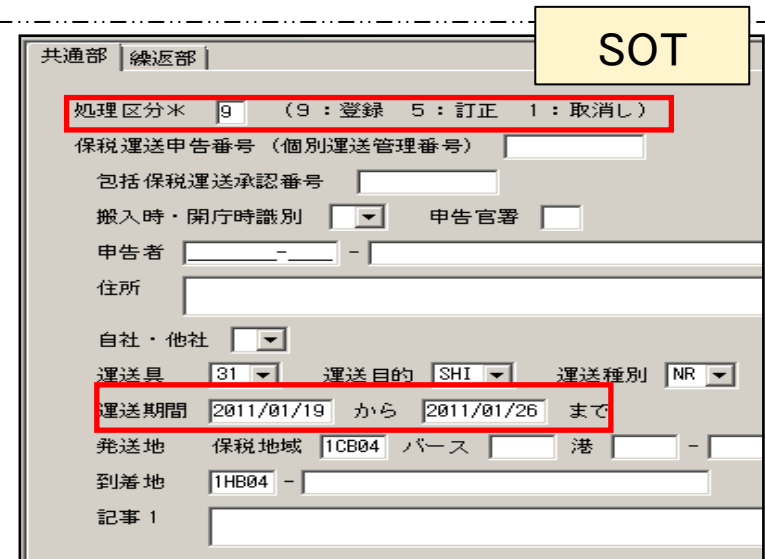
NACCS
受信
送信対象
送信済み
こみ相

検索する文字列 olc

	A/S	業務コード	出力コード	入力No
	S	OLC		
	S	CYB		
	S	SOT11		

※保税運送期間の開始時期の訂正

- ① SOT11で取消し
- ② 送信済みから前回の登録履歴を選択
- ③ 開始時期を訂正して送信



共通部 | 繰返部 |

処理区分* (9:登録 5:訂正 1:取消し)
保税運送申告番号 (個別運送管理番号)
包括保税運送承認番号
搬入時・開庁時識別 申告官署
申告者 -
住所
自社・他社
運送具 運送目的 運送種別
運送期間 から まで
発送地 保税地域 パース 港
到着地 -
記事1

SOT

保税運送のシール番号の訂正

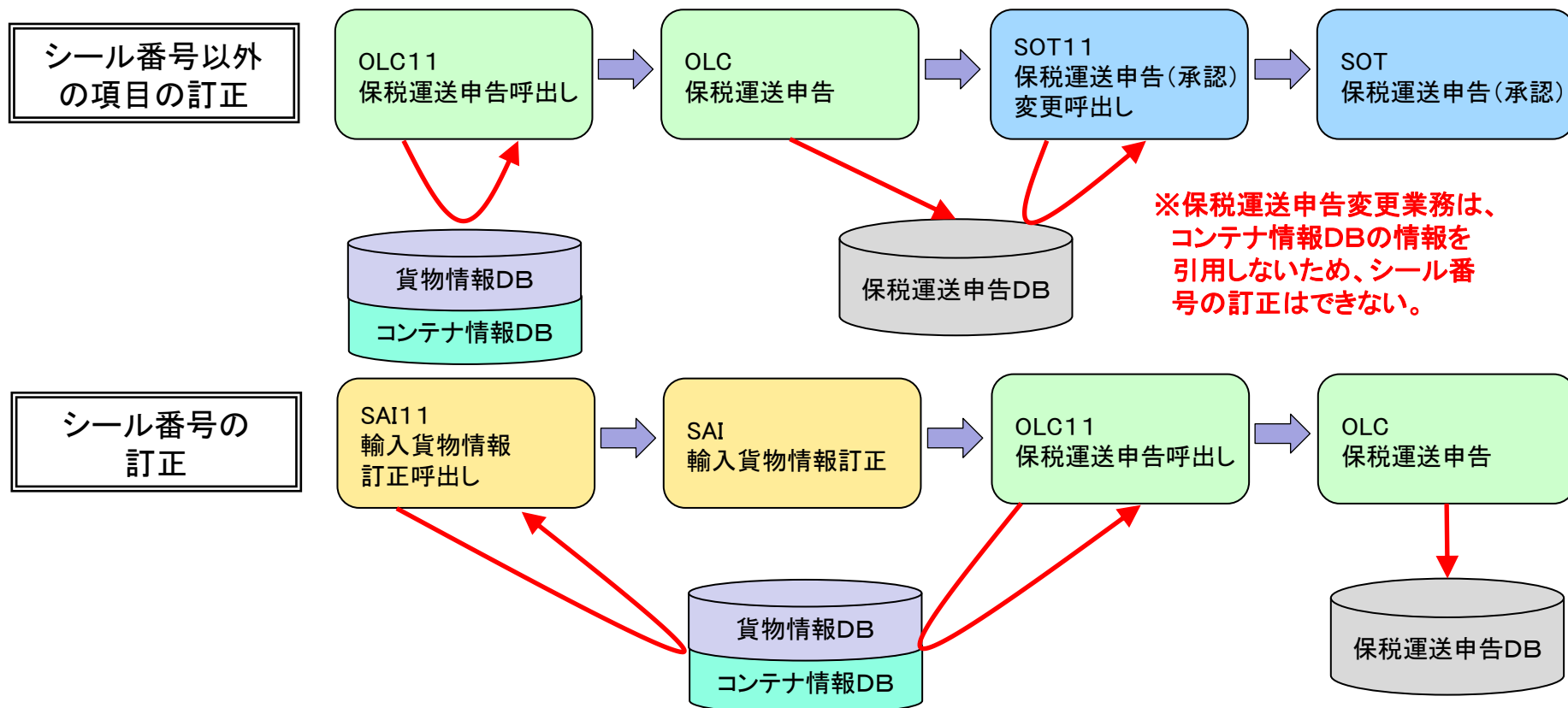
<質問>

輸入コンテナの保税運送で、シール番号などの訂正の方法は。

<回答>

保税運送の訂正方法は、シール番号の場合と、シール番号以外の場合で方法が異なります。

シール番号以外の項目の訂正は、SOT11→SOTにより行いますが、シール番号については、SAI11→SAIにより、貨物情報を訂正する必要があります。



保税運送中の仕分け①

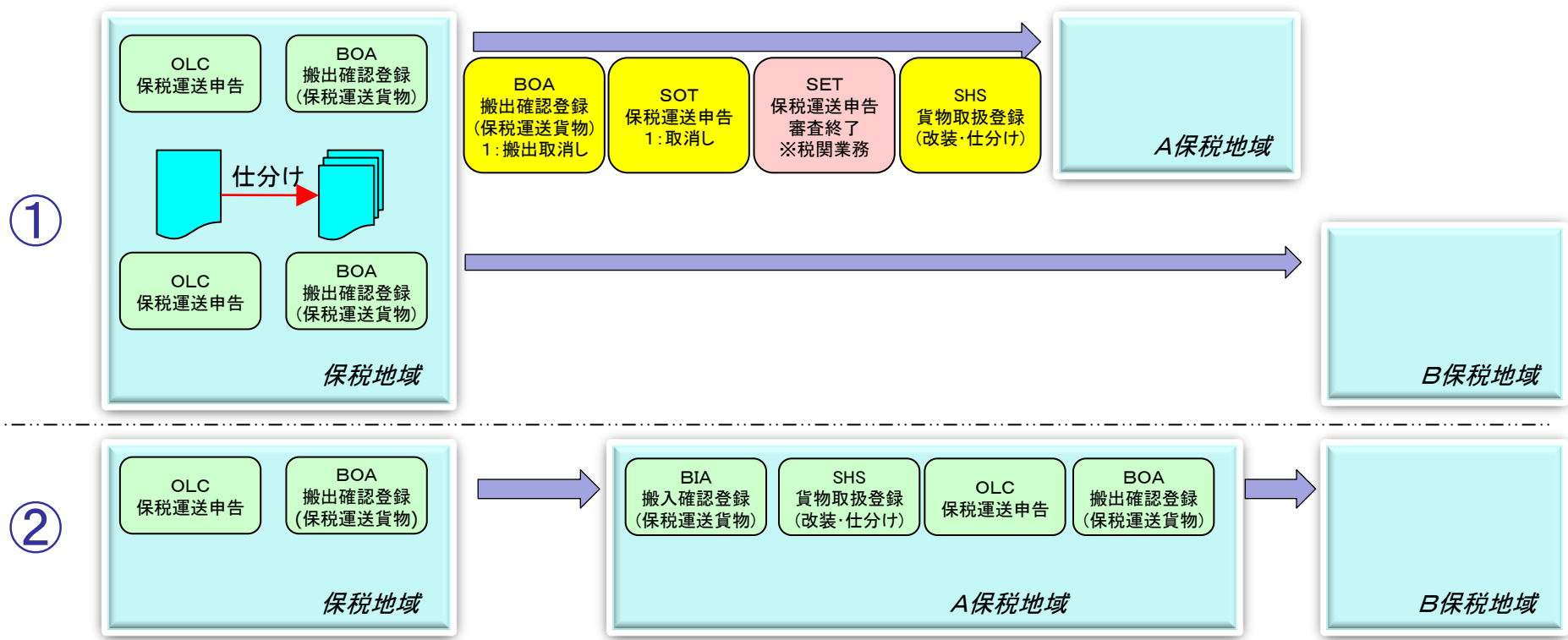
＜質問＞ A保税地域への保税運送で、搬入中に、荷姿等により一部貨物が予定どおり搬入できない事態となった場合、別のB保税地域にその一部を搬入せざるを得ないとき、どのような対処方法は。
(搬入続行中に貨物の仕分けは可能か。搬入中に搬入場所を分割することが可能か。)

＜回答＞

貨物の仕分けは税関手続の「取扱」行為となるため、**保税蔵置場に蔵置されていることが条件**となります。

この場合は税関相談のうえ、次のいずれかの処理になると考えられます。

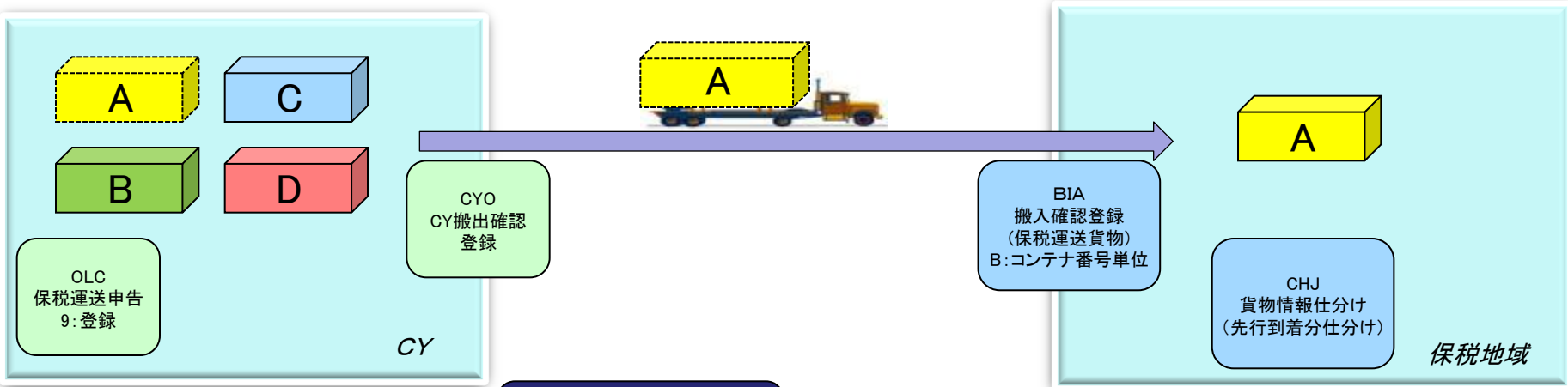
- ① 保税運送取消と搬出蔵置場での搬出取消を行い、貨物情報を搬出蔵置場に戻してから仕分けを行う。
- ② A保税地域に全量搬入後に仕分けを行い、B保税地域に保税運送する。



保税運送中の仕分け②

【参考】輸入コンテナの先行到着仕分けについて

1B/L・複数コンテナの貨物で、そのうち1本のコンテナが先行して到着したため、先に輸入申告をしたい場合に、CHJ(貨物情報仕分け)を行い申告することが可能です。



共通部 繰返部

処理区分米 9 (9:登録 1:取消)

情報仕分区分 **Q** (P:通常 Q:先行到着分 R:分散設置)

貨物取扱番号 (取消のみ入力)

仕分数 1 (通常:2~20 先行到着分:1 分散設置:2)

仕分前B/L番号 0TH01234560

記事

**CHJ
貨物情報仕分け**

共通部 繰返部

仕分後蔵置場所 1HB04

仕分後個数 200 - CT 重量 2000.000 - KGM 容積 2000.000 - MTQ

仕分後品名 WOMAN DRESS

仕分後記号番号 N/M

先行到着した貨物の内容を入力する。

仕分後危険貨物等

仕分後コンテナ番号

1		2		3		4	
6		7		8		9	

税関検査後の在来貨物の転送

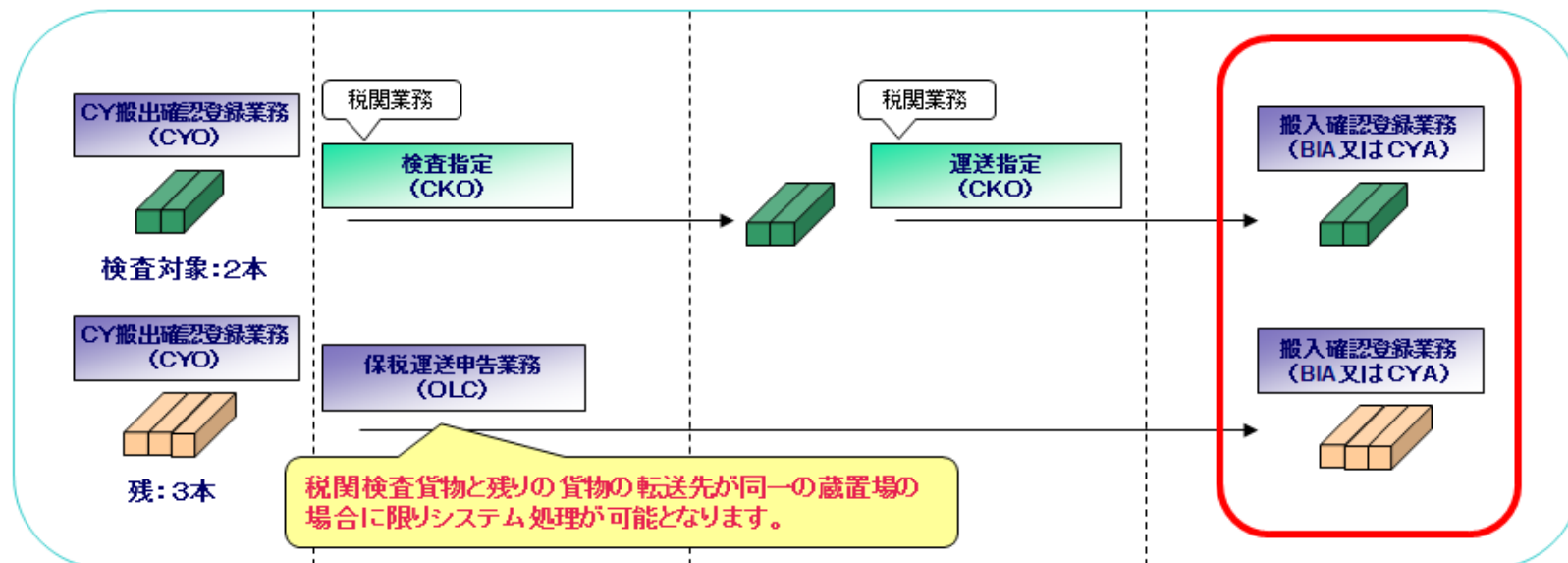
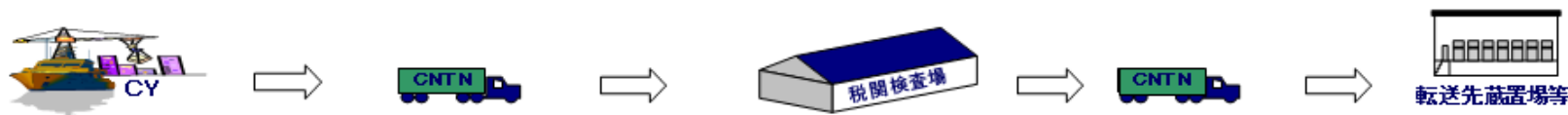
<質問>

他社蔵置場の在来貨物が検査により異常があった場合、自社蔵置場に検査指定による運送は出来るか。

<回答>

輸入コンテナ貨物が、税関コンテナ検査場での検査後に税関の指示により、他の保税蔵置場に運送する必要がある場合には、税関のCKO(検査(運送)指定)により運送することが可能になっています。

但し、運送指定できるのは**検査場検査、大型X線検査又は見本確認**の場合で、かつ、**コンテナ貨物**に限定されています。



一部コンテナの検査場検査対応について

<質問>

複数コンテナの一部のコンテナが検査となった場合の対処方法は。

<回答>

①【検査の結果、検査場において開被検査となった場合】

一部のコンテナについて、税関がCKOにて検査指定、CYがCYO「K」を行う。検査場で開被検査後、問題が無ければ、許可後引取。残りのコンテナについても許可後、引取(CYO)。

②【検査の結果、システム参加保税蔵置場Aで開被検査となった(残りコンテナはCYから動かさない)場合】

検査後、検査を行った一部コンテナは、税関がCKO「U」を登録により保税蔵置場Aへ転送。

保税蔵置場AではBIA「E」で搬入。保税蔵置場Aで開被検査後問題が無ければ、許可後引取。残りのコンテナについても許可後CYにおいて許可後引取(CYO)。

ただし、輸入コンテナ貨物を検査後に転送する場合は、全量転送先に運送することが原則となっていることから、やむを得ず分散蔵置状態により審査終了する場合、転送先保税地域での貨物管理(台帳等)はシステムによる管理を行うことが出来ません。

CKO業務(審査区分変更・検査(運送)指定)「U:運送指示」

※税関検査後に貨物を転送するのは、コンテナ貨物に限られています

バラ貨物はCKO(U)業務の対象外となりNACCS処理不可

SAT(システム外保税運送到着確認)

CYO(CY搬出確認登録)「K(検査による搬出)」

BIA(搬入確認登録(保税運送貨物))「E(コンテナ検査による転送された貨物の搬入確認)」

OLC(保税運送申告)「運送目的:KNU(輸入申告中の運送)」

税関業務



一部コンテナの検査場検査対応について

前頁つづき



③【検査の結果、システム参加保税蔵置場Aで開被検査となった(残りコンテナもCYから保税蔵置場Aへ運送)場合】

検査後、検査を行った一部コンテナは、税関がCKO「U」の登録により保税蔵置場Aへ転送。

保税蔵置場AではBIA「E」で搬入。CYに残った残りコンテナについては、OLC「KNU」を利用して、検査済貨物の転送先と同じ保税地域に保税運送申告し、CYOで搬出し、保税蔵置場AはBIA業務又はCYA業務で搬入。保税蔵置場Aで開被検査後問題が無ければ、許可後引取。

ただし、この場合許可を受けるためには、IDD→IDA01にて通関場所の蔵置場コードを保税蔵置場Aに訂正し、IDE(輸入申告変更)する必要があります。

④【検査の結果、システム不参加保税蔵置場Bで開被検査となった(残りコンテナもCYから保税蔵置場Bへ運送)場合】

検査後、検査を行った一部コンテナは、税関がCKO「U」の登録により保税蔵置場Bへ転送。CYに残った残りコンテナは、OLC「KNU」およびCYOで保税蔵置場Bへ搬出。保税蔵置場Bに到着した際の到着確認は、税関によるSATを実施していただきます。保税蔵置場Bで開被検査後問題が無ければ、許可後引取。

ただし、この場合許可を受けるためには、IDD→IDA01にて通関場所の蔵置場コードを保税蔵置場Bに訂正しIDE(輸入申告変更)する必要があります。なお、保税蔵置場Bは、システム不参加であるため、許可・承認貨物情報(輸入)は配信されません。(許可後に搬出する際はマニュアルによる搬出を実施。)

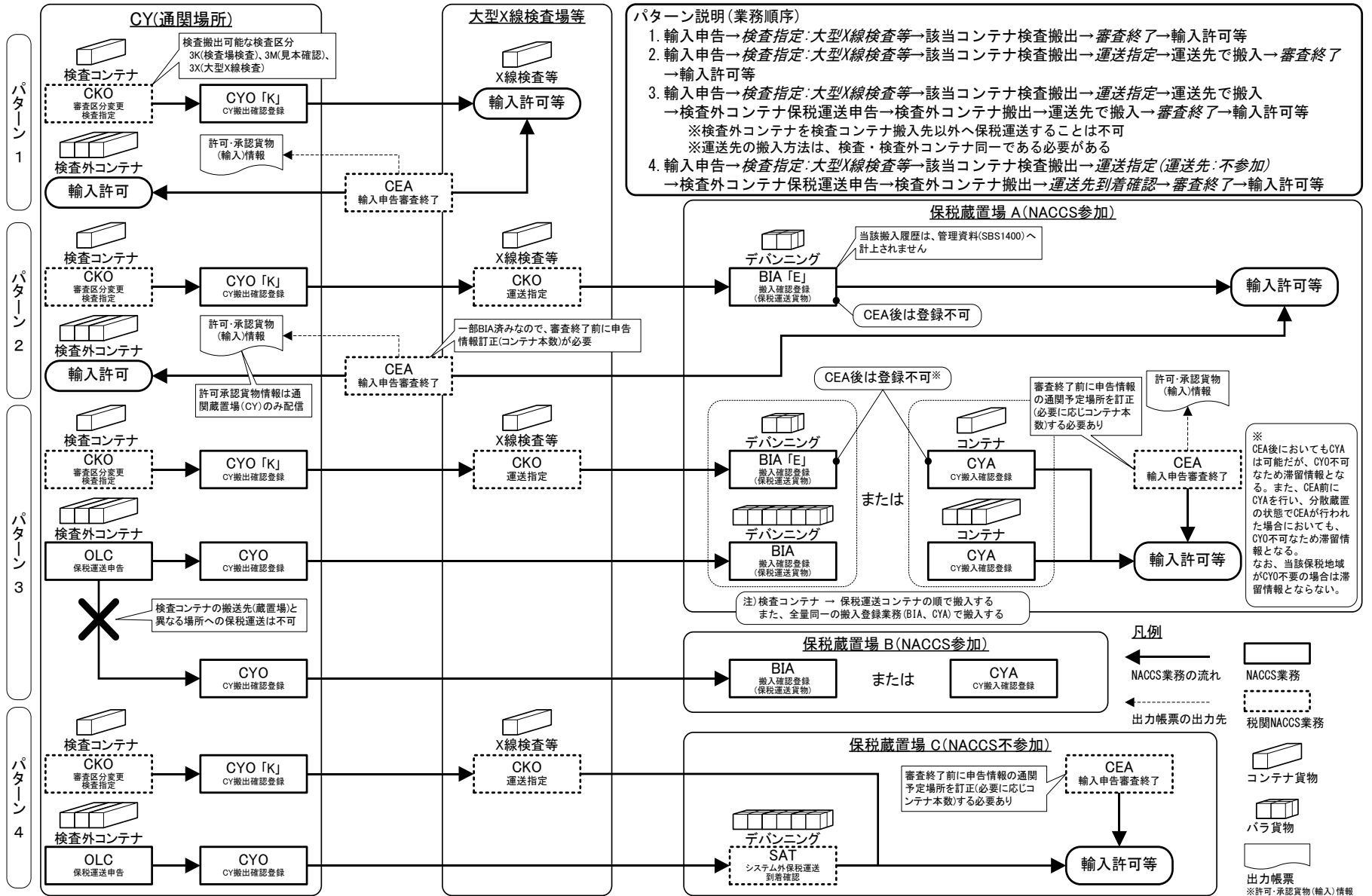
⑤【検査の結果、システム参加保税蔵置場Aで開被検査となった(残りコンテナはCYからAと異なる保税蔵置場Bへ運送)場合】

検査後、検査を行った一部コンテナは、税関がCKO「U」の登録により保税蔵置場Aへ転送。保税蔵置場AではBIA「E」で搬入。

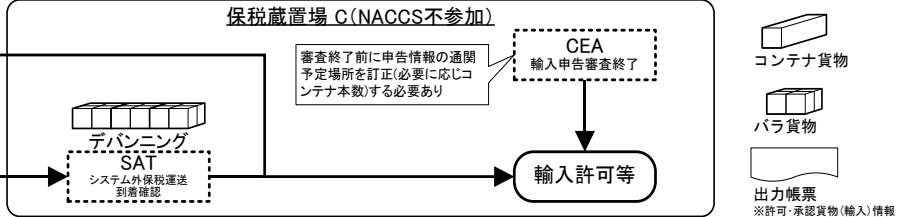
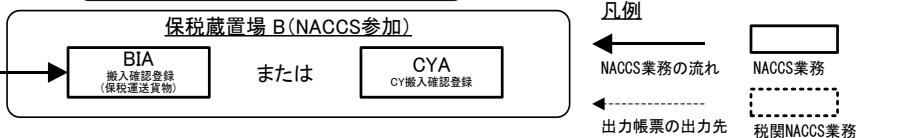
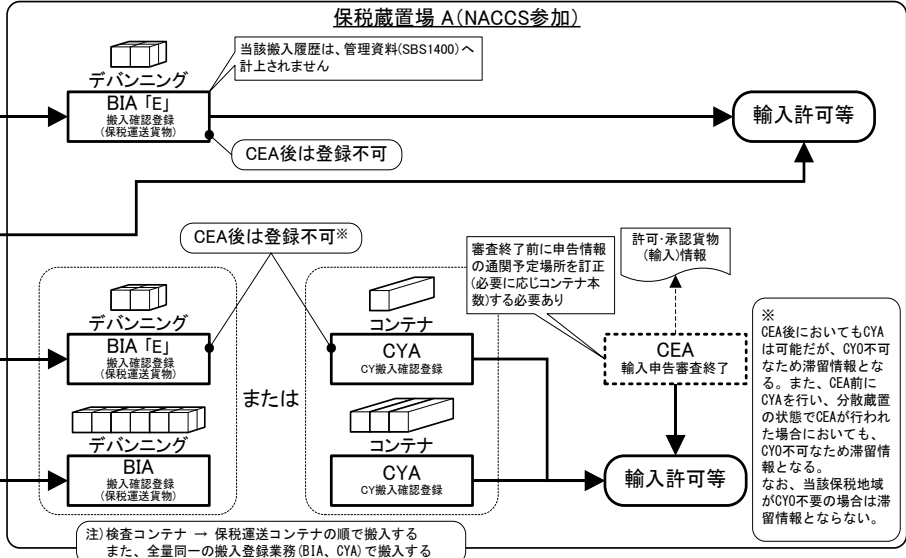
残りコンテナについては、保税蔵置場Bへの保税運送申告はシステム処理出来ません。

(便宜②の流れになるかと思われませんが、税関にご相談ください。)

検査搬出業務の流れ(輸入)

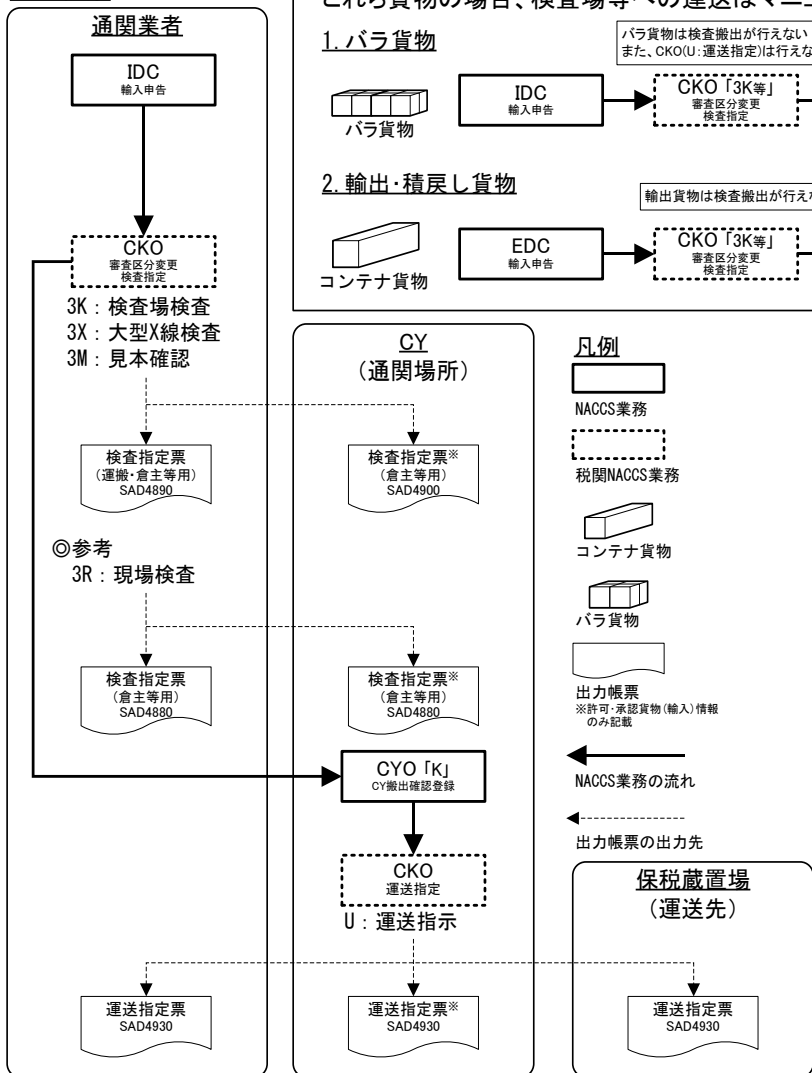


- パターン説明(業務順序)**
1. 輸入申告→検査指定:大型X線検査等→該当コンテナ検査搬出→審査終了→輸入許可等
 2. 輸入申告→検査指定:大型X線検査等→該当コンテナ検査搬出→運送指定→運送先で搬入→審査終了→輸入許可等
 3. 輸入申告→検査指定:大型X線検査等→該当コンテナ検査搬出→運送指定→運送先で搬入→検査外コンテナ保税運送申告→検査外コンテナ搬出→運送先で搬入→審査終了→輸入許可等
※検査外コンテナを検査コンテナ搬入先以外へ保税運送することは不可
※運送先の搬入方法は、検査・検査外コンテナ同一である必要がある
 4. 輸入申告→検査指定:大型X線検査等→該当コンテナ検査搬出→運送指定(運送先:不参加)→検査外コンテナ保税運送申告→検査外コンテナ搬出→運送先到着確認→審査終了→輸入許可等



検査搬出業務不可な貨物等

検査・運送指定時の出力帳票



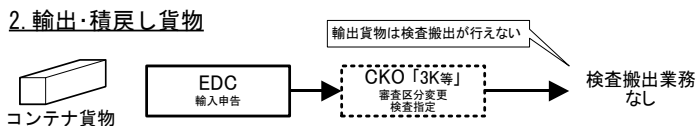
検査搬出不可な貨物

これら貨物の場合、検査場等への運送はマニュアル処理、通関場所に着置中のまま審査終了を行う

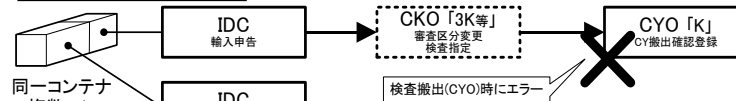
1. パラ貨物



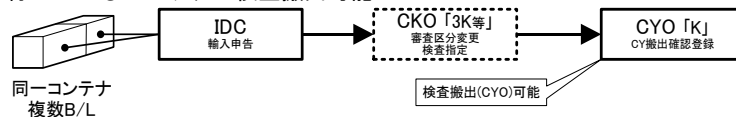
2. 輸出・積戻し貨物



3. 1コンテナに複数B/Lが存在する場合で、全B/Lを同一の輸入申告等を行っていないコンテナ



1コンテナに複数B/Lが存在する場合でも全B/Lを同一輸入申告等を行っているコンテナは検査搬出可能



検査搬出等の照会について

◎ ICG (貨物情報照会) TRN (搬出入情報) の繰返部

共通部	繰返部
01 発送地 4IDXX - 港 搬出日時 2010/06/01 - 15:22 直接船積表示 搬入先 4IWYY	
搬出区分 KNU 許可承認番号 4100000110 コンテナ番号 NACU999990	
搬入日時 / / - : 事故 1 2 3 4 5	

搬出区分: KNU (検査搬出)

発送地: 検査搬出元

搬出日時: 検査搬出日時

搬入先: 検査場からの運送指示場所 (転送先)

※未指示の場合はブランク

許可承認番号: 輸入等申告番号

コンテナ番号: 検査搬出されたコンテナ番号

搬入日時: 転送先での搬入日時

◎ IID (輸入申告等照会情報) の共通部

共通部	繰返部
代表税番 3923 L	申告種別 IC [] []
区分 3K	あて先税関 部門 NANKO 03
申告年月日 2010/06/01	申告番号 410 0000 0110

検査区分 1△: 簡易審査

2△: 書類審査

3△: 検査扱い

3R: 現場検査

3K: 検査場検査

検査搬出可能
検査区分

3M: 見本確認

3H: 本船検査

3V: ふ中検査

3X: 大型X線検査

3J: 事前検査

※ 1. システム不参加保税地域の場合は出力しない
2. 分散蔵置貨物の一括申告、及び複数B/Lでの申告の場合は出力しない

【船卸確認登録(PKI/PKK)後の訂正について(事例)】

(1) 開始日時／終了日時を誤って入力した場合。

① 実入りコンテナ

CYで、SAI11→SAI(輸入貨物情報訂正)でB/L番号ごとに訂正をします。

② 空コンテナ

訂正業務が無い為、税関相談の上マニュアルでの対応となります。

(2) CYに船卸しするところを、誤ってバースで登録した場合。

CYで、コンテナ番号ごとにCYA(CY搬入確認登録)を行います。

その際に「ポートノート」欄に、『D:搬入確認をする』を入力します。

※コンテナ識別「23:輸入コンテナ」を間違えないように注意してください。(コンテナ識別の訂正不可!!)

(3) 卸コン併せ表示を、誤って「N:卸コンテナリストの提出を併せて行わない場合」で登録した場合。

別途、DCL01、02(卸コンテナ情報登録)で、卸コンテナリストを提出します。

(4) PID(到着確認登録)で入港日を直す前に、誤ってPKI、PKK業務を行ってしまった場合。

① 実入りコンテナ

CYで、SAI11→SAI(輸入貨物情報訂正)でB/L番号ごとに訂正をします。

② 空コンテナ

訂正業務が無い為、税関相談の上マニュアルでの対応となります。



これらはよくお問い合わせを頂く内容ですので、訂正が起こらないように船卸確認登録を行う時点で、**内容をしっかり確認してから登録をする**ことが重要です。

航空貨物業務(FAQ)

搬入確認後に搬入を取り消す場合の処理の場合①

■ 搬入確認後に搬入を取り消す場合の処理について

<質問>

BIL01(一括搬入確認登録)またはBII01(個別搬入確認登録)により貨物を搬入後、搬入を取り消す場合の対処方法は。

<回答>

搬入の取り消しを行う業務はありません。貨物が未申告であれば内貨(内国貨物)の状態ですので、EXA01(搬出確認登録(AWB・HAWB単位))(搬出先「ZZZZZ」、積込港識別「(スペース)」、搬出区分「D」(内貨引取))を行ってください。

貨物が輸出許可済の場合には、税関にPAH(許可・承認等情報登録(保税))を依頼し、「OTH」(その他の搬出承認)登録後にEXA01(搬出確認登録(AWB・HAWB単位))(搬出先「ZZZZZ」、積込港識別「(スペース)」、搬出区分「O」(その他))にて搬出してください。

貨物が申告中の場合には、申告撤回を行った後に内貨引取を行ってください。

EXA 呼出し画面

EXA 搬出確認登録(AWB・HAWB単位)呼出し

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(J)

MAWB番号 -

搬出先* 搬出元 積込港 TRMNO 搬出区分

時間外搬出表示 トラック番号 請求先 強制表示

処理 AWB番号

01



EXA01 搬出登録画面

EXA01 搬出確認登録(AWB・HAWB単位)

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(J)

MAWB番号 - LDR番号

搬出先 搬出元 積込港 TRMNO 搬出区分

搬出年月日 時間外搬出表示 トラック番号 請求先 強制表示

AWB番号	個数	重量	仕向地	S	代/混	UBG	特記事項
01 <input type="checkbox"/> H <input type="text" value="NAC - 2009100901"/>	<input type="text" value="1"/> - <input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1.0"/>	<input type="text" value="STR"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	A <input type="text"/>

■ 海上貨物から航空貨物へ変更したい(輸出許可済み)

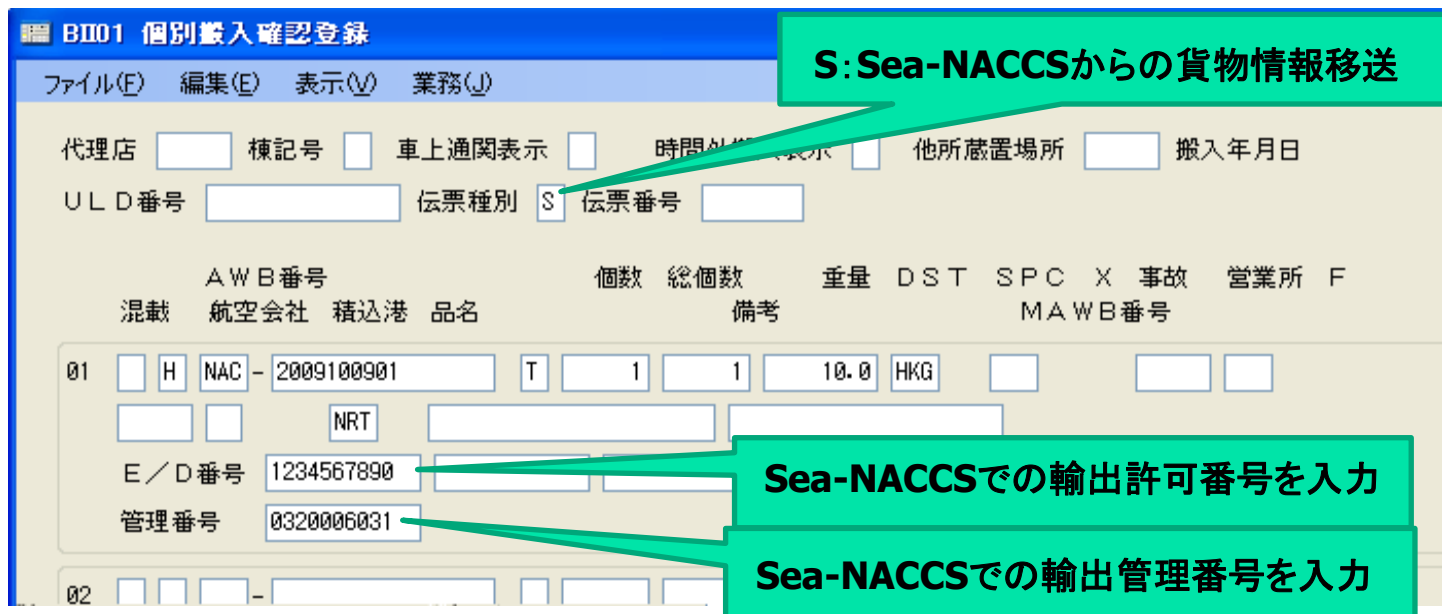
<質問>

Sea-NACCSで輸出許可を受けた貨物を、Air-NACCSで出荷する予定になりましたが、対処方法は。

<回答>

Sea-NACCSで輸出許可後にBOC(搬出確認登録(輸出許可済))で航空貨物蔵置場に搬出を行っていただき、その後Air-NACCSでBII01(個別搬入確認登録)で搬入を行うことにより航空貨物としての情報が作成されます。

BII01登録画面



BII01 個別搬入確認登録

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 業務(J)

代理店 棟記号 車上通関表示 時間外作業表示 他所蔵置場所 搬入年月日

ULD番号 伝票種別 伝票番号

AWB番号 混載 航空会社 積込港 品名 備考

個数	総個数	重量	DST	SPC	X	事故	営業所	F
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="10.0"/>	<input type="text" value="HKG"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

E/D番号

管理番号

MAWB番号

S: Sea-NACCSからの貨物情報移送

Sea-NACCSでの輸出許可番号を入力

Sea-NACCSでの輸出管理番号を入力

BIL01で搬入伝票番号が登録されていないエラー①

<質問>

BIL01(一括搬入確認登録)を行った際にエラー (入力された搬入伝票番号に対する情報がシステムに登録されていない。) が出力され、搬入出来ない。

<回答>

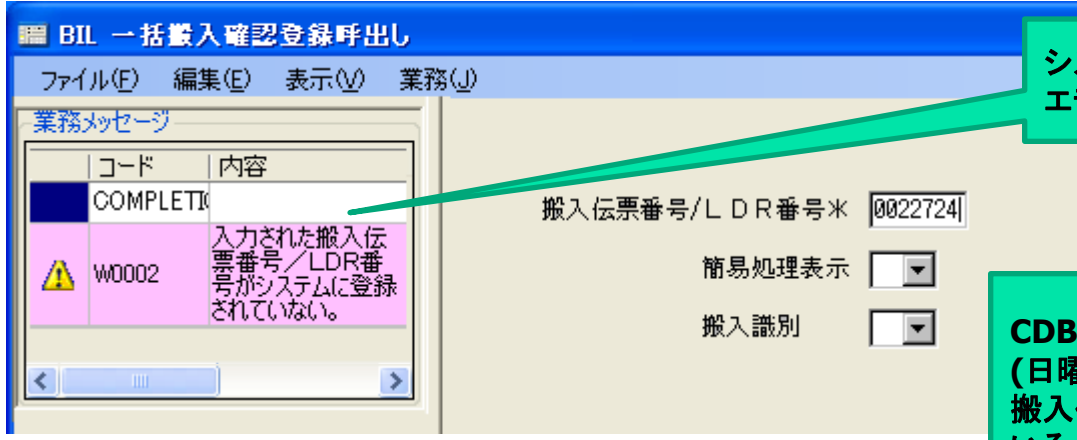
CDB01(輸出貨物情報登録)を行った場合、輸出貨物情報ファイルは3日間(日曜・祝祭日除く)、搬入伝票ファイルは5日間(日曜・祝祭日除く)保存します。

CDB01等を行った日以降に、HDF01(混載仕立情報登録)等が行われる毎に、輸出貨物情報ファイルの保存期間は延長(HDF等を行った日より3日間)されますが、搬入伝票ファイルの保存期間は延長されず、当初のCDB01等から5日間で削除されてしまうため、当該エラーが出力されます。

対処方法としましては、CDD(輸出貨物情報訂正(削除・呼出し))により当該AWB番号の貨物情報を削除した後に再度CDB01を行い搬入して下さい。

BIL01で搬入伝票番号が登録されていないエラー②

BIL呼出し画面



The screenshot shows the 'BIL 一括搬入確認登録呼出し' window. A '業務メッセージ' (Business Message) table is visible with the following content:

コード	内容
COMPLETE	
W0002	入力された搬入伝票番号/LDR番号がシステムに登録されていない。

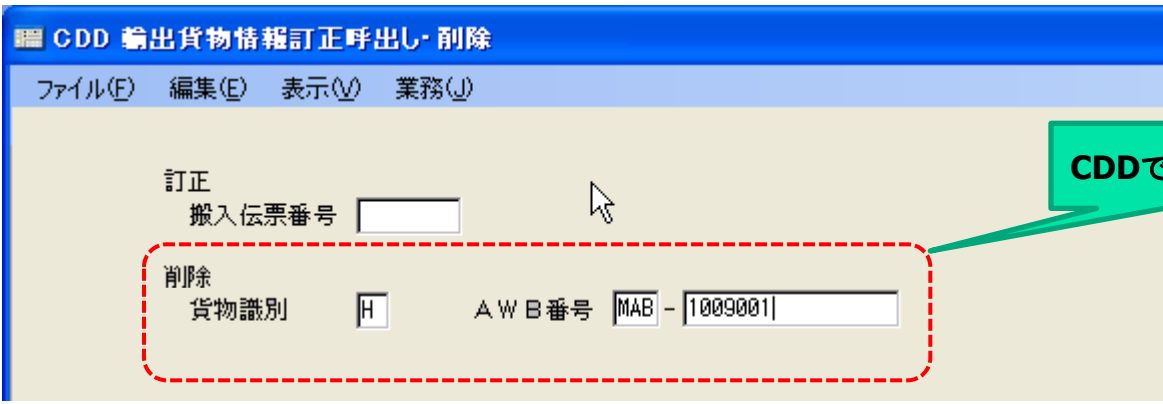
Other fields include: 搬入伝票番号/LDR番号* [0022724], 簡易処理表示 [dropdown], and 搬入識別 [dropdown].

システムに登録されていないエラーが出力される。

CDB01を行ってから5日(日曜・祝祭日除く)以上経過し、搬入伝票ファイルが削除されている。



CDD呼出し画面



The screenshot shows the 'CDD 輸出貨物情報訂正呼出し・削除' window. It has two sections:

- 訂正 (Correction): 搬入伝票番号 [input field]
- 削除 (Deletion): 貨物識別 [H] A W B 番号 [MAB - 1009001]

The deletion section is highlighted with a red dashed box.

CDDで削除する



もう一度CDB01からやり直す。またはBII01で搬入する。

<質問>

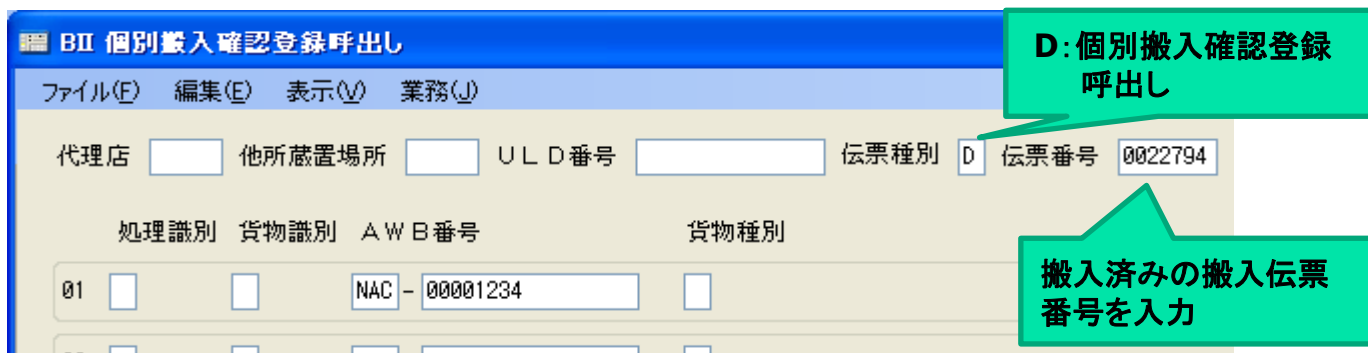
BIL01(一括搬入確認登録)において、処理識別欄に「P:搬入保留」ではなく誤って「X:一括搬入処理対象外」を入力してしまった。

再度、HAWBをBIL(一括搬入確認登録呼出し)により搬入しようとするときエラー(入力された搬入伝票番号/LDR番号に係る貨物は既に搬入済である)が出力され、搬入できない。

<回答>

処理対象外「X」が入力された場合、当該貨物はBILでは搬入確認できません。この場合、BII01(個別搬入確認登録)により個別に搬入確認を行ってください。

BII01画面



処理識別	貨物識別	AWB番号	貨物種別
01	<input type="checkbox"/>	NAC - 00001234	<input type="checkbox"/>

■ IMA(混載貨物仕立状況照会)での、共通部のHAWB件数欄の出力件数と個別部のHAWB番号欄の出力件数が異なります。

<質問>

IMA(混載貨物仕立状況照会)により仕立状況を確認したところ、共通部のHAWB件数欄の出力件数と個別部のHAWB番号欄の出力件数が異なっている。

<回答>

HDF01(混載仕立情報登録)を行った後に、貨物が保税蔵置場に搬入されなかった場合、当該HAWBの情報は3日間(日曜・祝祭日除く)でシステムから削除されますが、IMA共通部のHAWB件数・総個数・総重量には反映されません。

当事象が起きた場合、まずHDF01で(情報取消し) → HDF(混載仕立情報登録呼出し)で(MAWB情報強制訂正) → HDF01により混載仕立 の順序で処理を行ってください。

IMAでのHAWB件数が異なる②

HDF01画面

仕向地*	MAWB番号*	航空会社	積込港*	ジョイント表示			
LAX <input type="checkbox"/>	123 - 20100221	NA	NRT	<input type="checkbox"/>			
HAWB番号		仕向地	仕立個数	仕立重量	品名	貨物種別	
01	<input checked="" type="checkbox"/>	ABC - 20100221	LAX	100	10.0	GOLF BALLS	N
02	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

C: 情報取消し

当該MAWBに割り当てられている全HAWB(削除されたものを除く)の割当てを取消し。

HDF画面

処理区分*	<input checked="" type="checkbox"/> F	(H: HAWB単位 M: MAWB単位 D: 仕向地単位 F: 強制)	
仕向地	<input type="checkbox"/>	MAWB番号	123 - 20100221
HAWB番号		F: MAWB情報強制訂正	
01	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
02	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

当該MAWBに割り当てられているHAWB情報を初期化。



再度、HDF01で混載仕立を行う

HAWBが運送中の場合は作業が行えません。
搬入してから行ってください。

UBA11 呼出し画面

保税地域コード*



「許可・承認貨物(輸出)情報」(AAE4080)

<AIR/EXP> 許可・承認貨物 (輸出) 情報

申告種別	E	申告番号	123 0515 0160	許可年月日	2011/01/05
輸出者	[Redacted]				
申告者	[Redacted]				
出港予定日		積込港	JPNRT	蔵置場	[Redacted]
AWB番号	218-4611741	運送期間	2011/01/05 ~ 2011/01/11		
貨物個数	1 個	貨物重量	2.0 KGM		
記事 (税関)	[Redacted]				
記事 (通関)	[Redacted]				
社内整理番号	08270	仕入書番号			
品名 (代表)	MOUNTED PIEZO-ELECTRIC CRYSTAL ELEMENT				

UBA 保税地域関連情報登録画面

システム識別
航空

入力情報特定番号

添付ファイル

ファイル名	サイズ
-------	-----

入力項目ガイド
(1)許可・承認貨物情報(輸出)出力要否を入力
Y: 出力する
スペース: 出力しない
(2)PAE業務及びPAK業務で出力する許可・承認等登録通知情報(輸出通関)及び解除・取消通知情報
/輸出: 透明/の出力も含まれます

保税地域コード*

輸出関連

許可・承認貨物情報 (輸出) 出力表示_A I R	Y	許可・承認貨物情報 (輸出) CSV出力表示_A I R	
検査指定情報 (輸出) 出力表示_A I R	Y	搬出確認インタフェース表示	
積付結果登録インタフェース表示		搬送指示書 (輸出) 作成表示	
積付結果登録帳票作成表示		保税蔵置場用貨物取扱控 (輸出) 出力可否表示	Y
AWB受渡書情報出力要否表示			

検査指定票の出力も同様の登録で保税蔵置場に出力されるようになります。



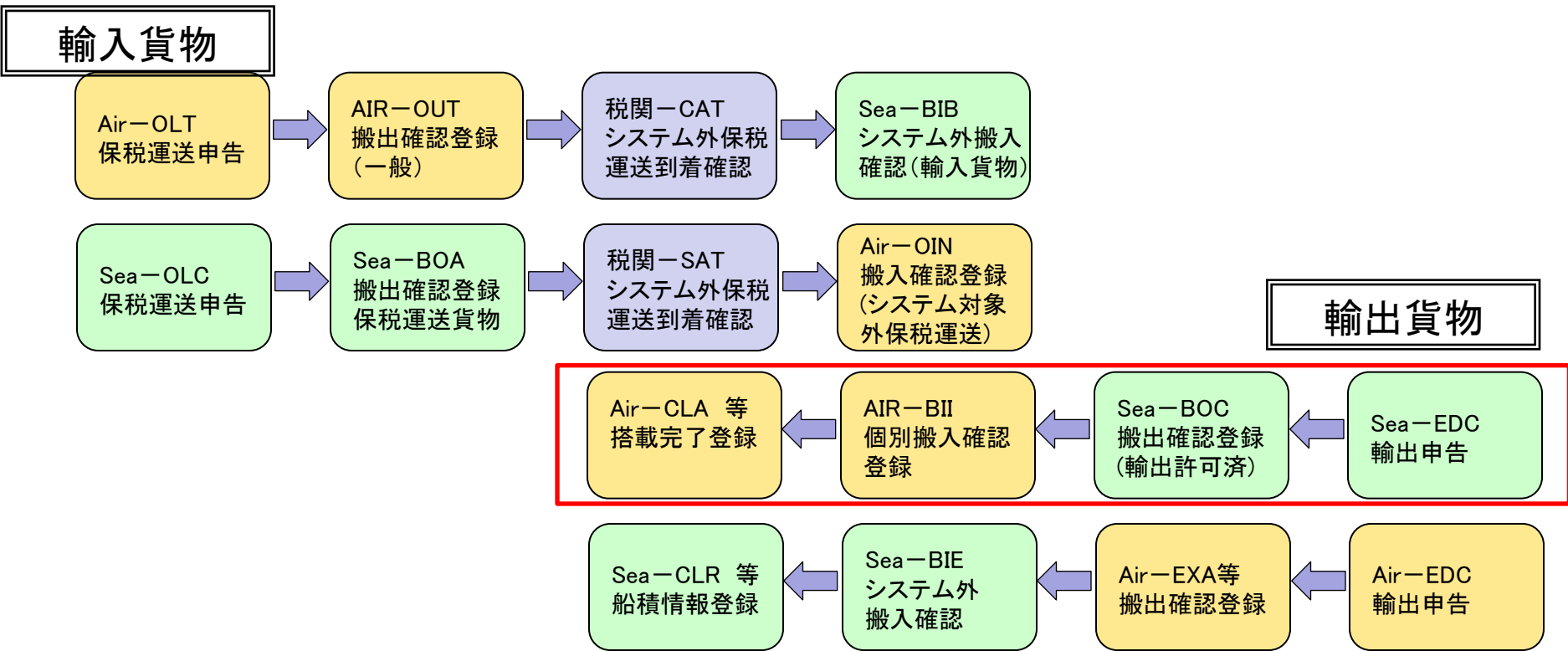
<質問>

Air-NACCSの保税運送による航空貨物がSea-NACCS蔵置場に到着した場合、システム外搬入(BIB)で処理したが、Sea-NACCSとAir-NACCSはデータ連携出来ないのか。

<回答>

現行仕様において、輸入貨物では、Air-NACCSからSea-NACCSへの情報移送は連携していません。

輸出貨物では、Sea-NACCSでBOC業務により搬出確認を行い、Air-NACCSでBII業務(個別搬入確認登録)を行うことにより連携が可能になっています。

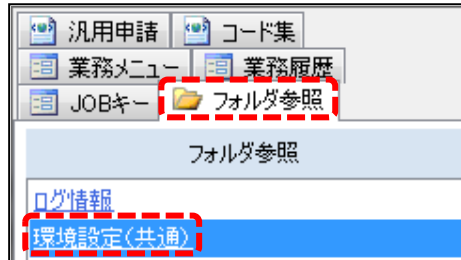
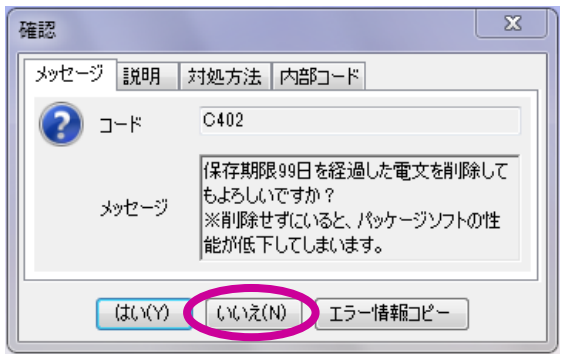


参考資料

参考:古い電文(保存期限切れの電文)の保管①

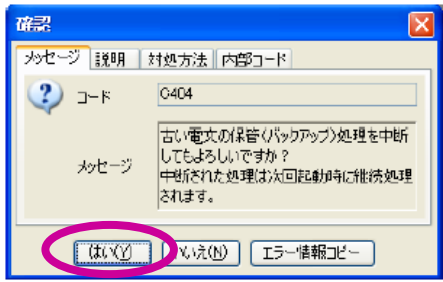
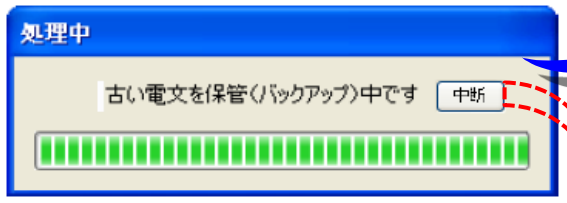
①パッケージソフト起動時に表示される「確認」ダイアログ(「保存期限〇日を経過した電文を削除してもよろしいですか?」)で、「いいえ(N)」を選択すると、自動的に保管処理が始まります。(2012年3月仕様変更)

③古い電文はフォルダ参照→環境設定(共通)→Commonフォルダの中に、「PastDataView」フォルダが作成され、ここに保管されます。保管された電文を元の場所に戻す方法は、次項で説明します。



名前	更新日時	種類	サイズ
Attach	2012/03/02 17:54	ファイル フォル...	
Backup	2012/05/07 15:17	ファイル フォル...	
Custom	2012/03/16 17:23	ファイル フォル...	
DataView	2012/05/07 15:28	ファイル フォル...	
PastDataView	2012/04/24 20:14	ファイル フォル...	
System32	2012/03/16 16:57	ファイル フォル...	
file_save_setup	2012/05/07 15:19	XML ドキュメント	2 KB
gstomp_info	2012/05/07 15:19	XML ドキュメント	1 KB
message_classify_setup	2012/05/07 15:28	XML ドキュメント	1 KB
option_certification_setup	2012/05/07 15:19	XML ドキュメント	1 KB
printer_setup	2012/05/07 15:19	XML ドキュメント	2 KB
receive_notice_setup	2011/07/07 11:45	XML ドキュメント	1 KB

②以下の「処理中」ダイアログ(「古い電文を保管(バックアップ)中です」)が表示されます。この処理時間は保存期限切れの電文量により異なります。



途中で「中断」をクリックし、「確認」ダイアログで「はい(Y)」を選択すると、一時的に中断されますが、次回起動時に、引き続き「処理中」ダイアログが表示されます。
保管を取り消すことはできません。

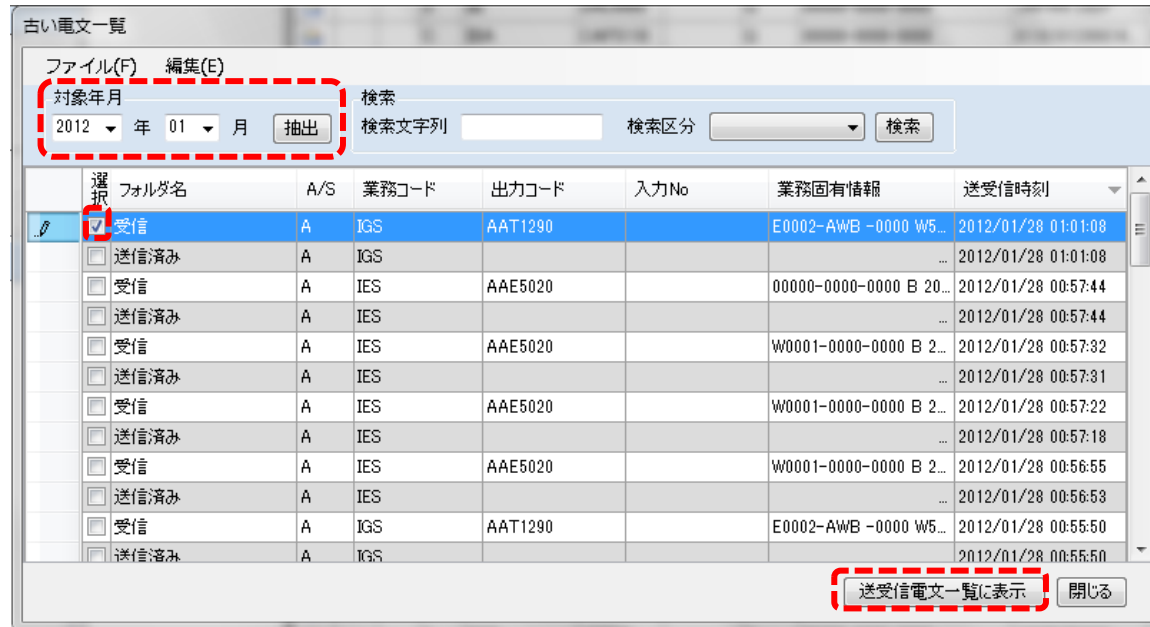
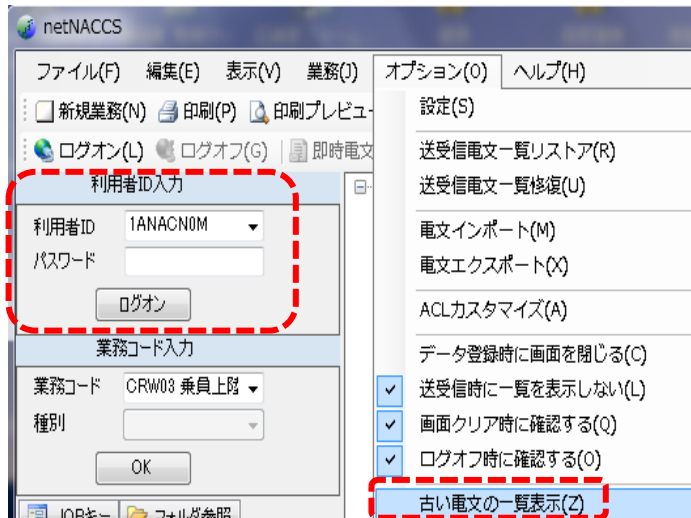


参考:古い電文(保存期限切れの電文)の保管②

○古い電文(保存期限切れの電文)を元に戻す方法

①ログオフした状態で、オプション(O)から「古い電文の一覧表示(Z)」を選択します。
※ログオフしていないと選択ができません。

②「古い電文一覧」ダイアログから対象年月を選択し、「抽出」をクリックすると、古い電文の一覧が表示されます。
元に戻したい電文を「レ」チェックで選択し、右下の「送受信電文一覧に表示」をクリックすると、電文は元の場所(フォルダ)に戻ります。



対象年月は「月ごと」のみ、抽出が可能です。古い電文全てを、一度に抽出することや、一度に元に戻すことはできません。

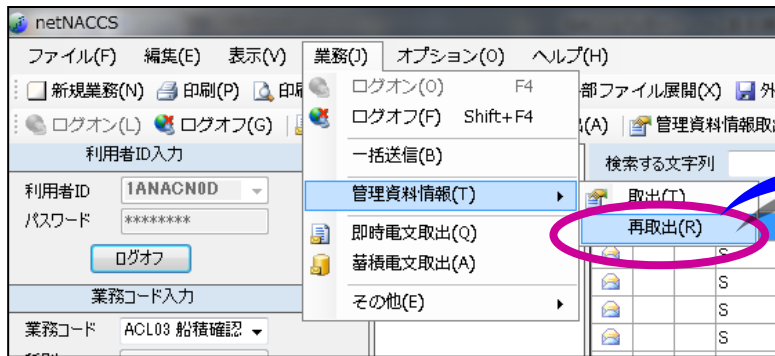


元の場所に電文を戻しても、保存期限切れ電文であることに変わりはないため、外部保存等をしない限り、また古い電文に保管され、この一覧に表示されます。

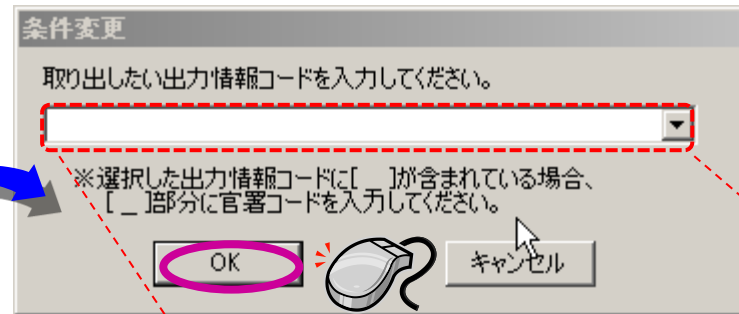
参考：管理統計資料の再取出し

管理資料は、以下の手順で再取出しが可能です。

(i) メインメニュー「業務(J)」→「管理資料情報(T)」→「再取出(R)」をクリック



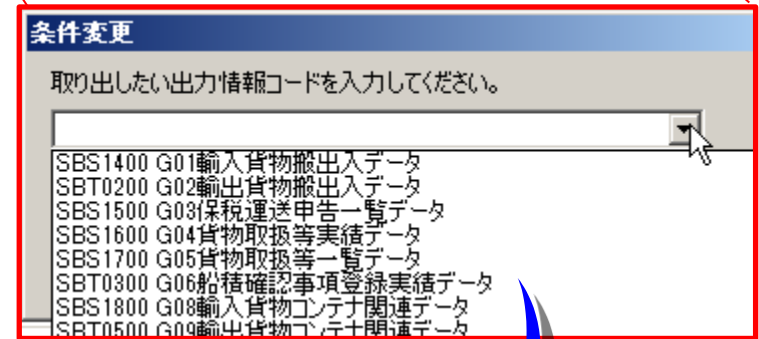
再取出可能期間(62日間)経過後の再配信は出来ません。取出し可能期間内に確実に取得して下さい。



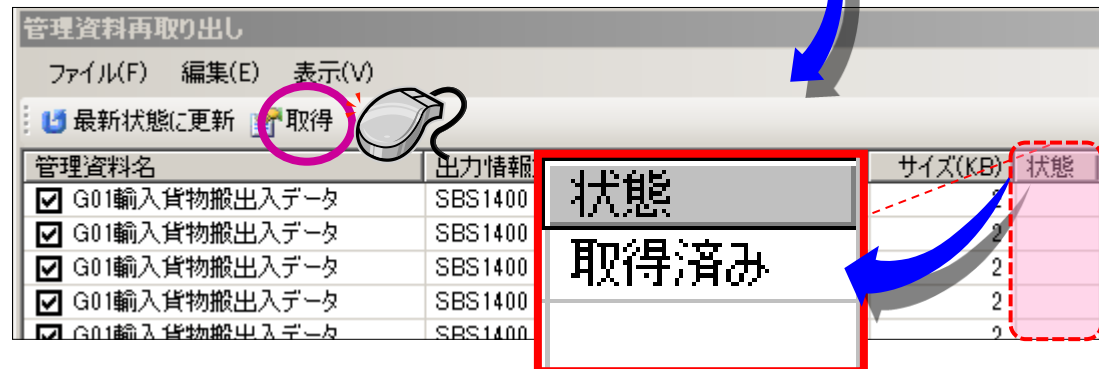
(ii) 再取出しを行う管理資料を選択し「OK」をクリック

(iii) 選択した管理資料について、過去62日間の配信分が表示される
希望する管理資料にチェックを入れ「取得」をクリック

(iv) 取得済みになることを確認する



管理資料の再取出しは、配信日を含めて**62日間**可能です。
取出し可能期間内であれば、**何度でも行えます**。
出力内容や保存先フォルダについて、通常取出しで取得した管理資料と、再取出しで取得した管理資料との間では**違いはありません**。



◎保存サービスの概要・利用申込みおよび利用料金

平成23年4月から、**保税管理資料**を**5年間**保存し、オンライン業務(DLH01)により該当する管理資料の必要な期間の取出しを可能とするサービスの提供を開始しております。

(※: サービス利用可能業種:「航空会社」、「機用品」、「保税蔵置場」、「CY」)
サービスを利用するためには、あらかじめ利用申込みをいただく必要があります。ご希望の方は弊社までお問合せ下さい。サービスの利用料金は、1利用者コード(保税地域1ヶ所)ごとに**月額1,050円(税込)**です。

	管理資料情報名	出力情報コード
Sea-NACCS (週報)	輸入貨物搬出入データ	SBS1400
	貨物取扱等一覧データ	SBS1700
	輸入貨物コンテナ関連データ	SBS1800
	輸出貨物搬出入データ	SBT0200
	輸出貨物コンテナ関連データ	SBT0500
Air-NACCS (日報)	航空輸入貨物搬出入データ	ABS6900
	航空輸入貨物取扱等一欄データ	ABS7000
	航空輸出貨物取扱等一欄データ	ABT6300
	航空輸出貨物搬出入データ	ABT6400

◎オンライン業務(DLH01)の実施方法

① 業務コード「DLH01」にて必要な情報を入力し送信します。

約10分後

コード	内容	処置	項目ID
COMPLETION			
W0001	保税管理資料再出力依頼情報にかかるシステム内部処理の受付を完了した。	不要	0000

処理区分コード: 9(登録)
管理資料: 希望する管理資料の番号
対象年月日: 日報最大31日分, 週報最大31週分
1回のDLH01業務で再出力可能。

② DLH01が正常に送信されると、注意喚起メッセージ「W0001」(受付を完了した。)を出力します。

③ 受理された再出力依頼情報は、09:00~18:45の間、10分間隔で処理されます。(※処理時間外に受理された分は翌朝処理)

④ 再出力処理が完了すると、随時報「*C1DH01(随時処理結果通知情報)」を出力します。

⑤ 通常の管理資料取出しと同様に「管理資料情報取出(T)」→「取得」を行うことで、指定した管理資料を取り出せます。

管理資料名	出力情報コード	作成日付時刻
☑ G01輸入貨物搬出入データ	SBS1400	2012/04/16 02:14:58
☑ G01輸入貨物搬出入データ	SBS1400	2012/04/09 02:19:40
☑ G01輸入貨物搬出入データ	SBS	
☑ G01輸入貨物搬出入データ	SBS	
☑ G01輸入貨物搬出入データ	SBS	

再出力による管理資料
※「作成日付時刻」が異なっている。